

カリタスジャパン 能登地震災害緊急支援募金 ご報告 2024年7月

能登半島に甚大な被害をもたらした地震発生から7ヶ月が経過しました。

あらためて、地震によって亡くなられた方、被害を受け、困難の中で生きておられる方、支援に関わる方のためお祈り申し上げます。

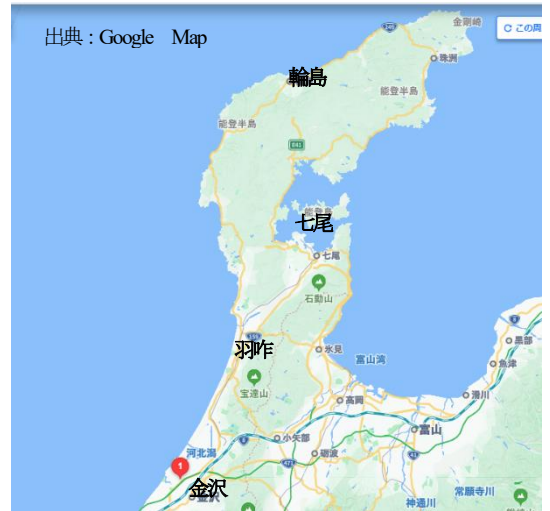
名古屋教区が立ち上げたカリタスのとサポートセンターは七尾教会と羽咋教会をボランティアベースとし、日本全国からのボランティアを受け入れて輪島市と七尾市で活動を継続しています。当初、給水支援と瓦礫の運搬が中心的な活動でしたが、仮設住宅への入居が進む中、出張サロン活動も始まっています。また、地域の人々と思いを一つにした、月命日の祈りの集いや、輪島における諸支援団体の活動拠点となっている神社での物資支援やお祭り支援など、地域とともに歩みを進める活動に取り組んでいます。

カリタスのとサポートセンターは、7月に四つの活動方針を発表しました。

- ①人々の中に出向いていき、声なき声に耳をすませます
- ②交わりの場をつくります
- ③お互いに活かしあう場をつくります
- ④つながりの輪を広げます

長期にわたるであろう活動を支えるため、引き続き皆様の祈りと献金、そしてボランティア参加や現地を訪ねての買い物支援など、様々な形でのご支援をよろしくお祈りいたします。

カリタスジャパン担当司教 成井大介



■ 能登半島地震災害緊急支援募金 (4月~7月)

期間	募金額 (円)	募金件数
4月1日~30日	8,957,711	129
5月1日~31日	6,797,019	89
6月1日~30日	2,566,961	73
7月1日~31日	3,811,255	72
計	22,132,946	363

2024年1-7月募金・援助

募金額 105,522,669 円 (1,694 件)

援助額 30,026,648 円

■ 援助額 (4月~7月)

援助先	活動	援助額 (円)
震災子ども復興支援センター	発災当初から輪島市町野町を拠点に、緊急支援物資の配布、洗濯場の開設、ボランティアベースの開設運営など、被災者のニーズに寄り添った支援を継続している。	1,000,000
カトリック名古屋教区 カリタスのとサポートセンター	能登半島地震被災地支援活動、カリタスのとサポートセンター運営費 (2024年7月~2025年3月) ①被災者支援:生活再建やコミュニティ支援など、被災者のニーズに沿う活動 ②ベース運営: 県内外ボランティアの宿泊および調整の拠点 ③研修:被災地での支援活動や事務局運営にかかるスタッフの能力向上にむけた取組み ④アドボカシー:被災地の現状を伝え、どのような支援が必要かを県内外にアピールし、支援活動に参画してもらう	16,117,540
カトリック名古屋教区 カリタスのとサポートセンター	ボランティアベース環境整備 県内外からのボランティアの宿泊施設として使用できるよう、2か所の施設の空調の修繕、整備費	801,108
合計		17,918,648

■ 活動写真 (写真はすべて ©カリタスのとサポートセンター)

水支援



断水が続く地域で、運搬が難しい方のお宅に水を運びました。山の上の集落にも伺いました。(6月22日終了)

じんのびカフェ ※じんのび=能登弁で「ゆっくり」の意味



七尾市の聖母幼稚園では、金沢教会、富山地区の小教区やベトナムコミュニティが輪番でカフェを開催しています。仮設住宅でのカフェもはじまりました。

物資支援



輪島市の重蔵神社では他団体と協力して、食品、生活物資や野菜などの配布を行っています。

足湯



足首痛のある方に「能登しお」入り足湯を実施しました。

シスターズリレー



日本女子修道会総長管区長会から派遣されたシスターが二人ずつ、リレー方式で支援にあたっています。

ついたちの祈り



毎月1日、発災時刻に合わせて黙とうと祈りをささげています。

郵便局の専用払込用紙(送金手数料カリタスジャパン負担)をご希望のかたは、電話(03-5632-4439)あるいはメール(info@caritas.jp)にて事務局までご連絡ください。



引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。